

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和6年10月29日（火）
- 2 確認箇所  
瓦礫類一時保管エリアCC（図1）
- 3 確認項目  
瓦礫類収納容器詰替作業の状況

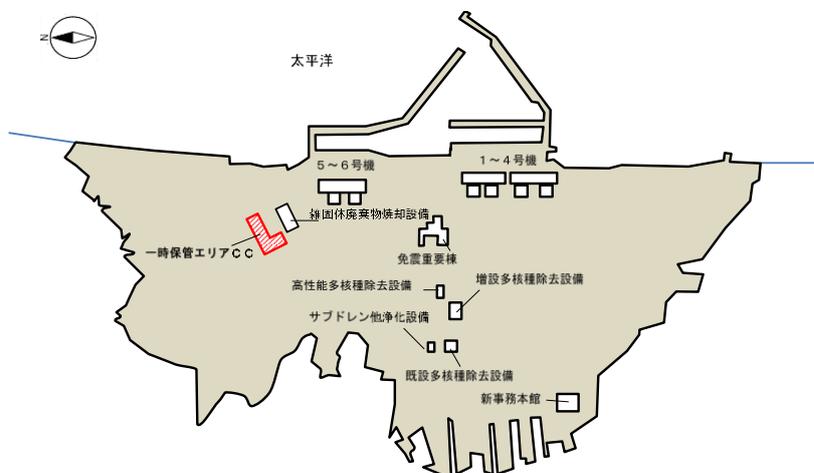
### 4 確認結果の概要

令和3年2月または、令和4年3月の福島県沖を震源とする地震により、一部の瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）において、コンテナの傾きが発生した。このため、県では定期的に一時保管エリアの状況を確認している。

本年2月、一時保管エリアCCにおいて、経年劣化した旧コンテナから新コンテナへ内容物を詰め替える作業中に、協力企業作業員が左手小指を金属ガラ間に挟み負傷する事案（不休災害）が発生した。事案に対する再発防止策が進められ、今月から作業が再開されたことから、作業の状況を確認した。

（前回確認日：令和6年6月11日）

- ・一時保管エリアCCの2箇所にて瓦礫類収納容器詰替作業が行われていた。（写真1）
- ・重機での詰替作業時、作業員は飛散防止の防護ネットが張られた待避所に留まるよう指示されており、安全対策が施されていた。（写真2）
- ・確認した範囲において、旧コンテナからの廃棄物等の飛散及び流出は確認されなかった。（写真3）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) 一時保管エリアCC全景



(写真1②) 重機による詰替作業



(写真1③) 詰替えられた瓦礫類



(写真2) 作業員の待避状況



(写真3①) 旧コンテナの保管状況



(写真3②) 旧コンテナの保管状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。